

超近代魔学

臨床試験



超近代魔学

臨床試験

初めましてこんにちは流れ星☆プリンです。今回はカプコンの格闘ゲームウオーザードからタバサとレオのお話です。驚くほどアーケードに置かれていた期間が短かったウオーザードですが、タバサはポケットファイターなどあれこれ他作品に登場して、むしろ私の知識はポケットファイターがメインだったりで、今改めましてタバサやレオの設定を調べると割とハードだな...と思いつつ、超近代魔字という設定は使えるな...という感じで今回のお話になりました。それではどうぞ。



おかしな話

ゴゴゴ



ようこそ

グレオーディア国王



ガッガッ



一国の王ともあろうお方が
このような辺境の地へ
赴いてくださったこと
心より感謝を――

そのような
堅苦しい挨拶はいい

あ・の・話・は・
本・当・な・の・で・
あ・ろ・う・な・？



勿論
ですよ



ええ



——これはこれは



ス...



呪いによって
獣頭になったとは
聞いておりましたが...

お主の：
魔導学者として
「コレ」はどう見る？

そうですね...

人ならざるものと成り
人ならざるものと戦う
日々の中で呪いが
進行した——といった
ところでしようか



呪いの元を
断つことができれば
元の体——どころか
そのお顔も元に
戻るはずです

ただ呪いの速度が
急速に進行している今…
体だけではなく心まで
獣と化するにあと数日—
といった所でしょうか

数日…!



戦いをやめ
この地で安息の日々を
送れば半年ほどの
猶予はできそうですが…

そんな事
私にできると
でも……!!

ええ
承知の上で
言いました

失礼





私も
そのために
ここへ来た

覚悟は
できている



ここに来て
いただいたという事は
私なら戻す事が

全てとはいかなくとも
進行している呪いの分は
退行させる事ができます



イア
ブル
ン

ポッ!



さすが一国の王
結構結構

それでは早速
治療と参りましょう



お前たちは
向こうへ
行ってなさい

たっ
たっ



こうか...?

ギギ

ええ



其方のベッドへ
お座りください



では

ギギ



何...を?

貴方の呪いの進行は
人としての接点を
失っているからです



接点...?

人ならざるものが
人ならざるものと
戦えば当然浮世から
離れていく



つまり人として人と交われれば
その呪いを戻せるというわけです

.....交わる...!?

そこから先は
言わなくても
お分かりですよね...

す...







ジュンジュン……

ジュンジュン
ジュンジュン



ジュン……

ジュンジュン
ジュンジュン



まあ我慢など
なさらず……

ジュンジュン
ジュンジュン

ジュンジュン
ジュンジュン

ジュンジュン
ジュンジュン

ジュンジュン
ジュンジュン



ジュンジュン……

ジュンジュン
ジュンジュン





吸呪と解析が
完了しましたわ

この調子なら
コチラを使えば呪いの退行も
十分できそうです

その印は…

オウ…



私の体で貴方を
受け入れられるのか
いささか不安では
ありませんが…



これぞ超近代魔学の
粹を集めて作った
生体式吸呪装置…

ここから体液を媒介し
呪い力を吸い取れます



もうしばらく
辛抱なさって
くださいね



し…しオ…!?

貴女にばかり
負担をかけるのは
申し訳ない

微力ながら
協力しよう

あんな
あんな

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ああ…っ！
ダメです
このような…！

おとぞ…！

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

おとぞ…！
ズン
ズン
ズン



アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



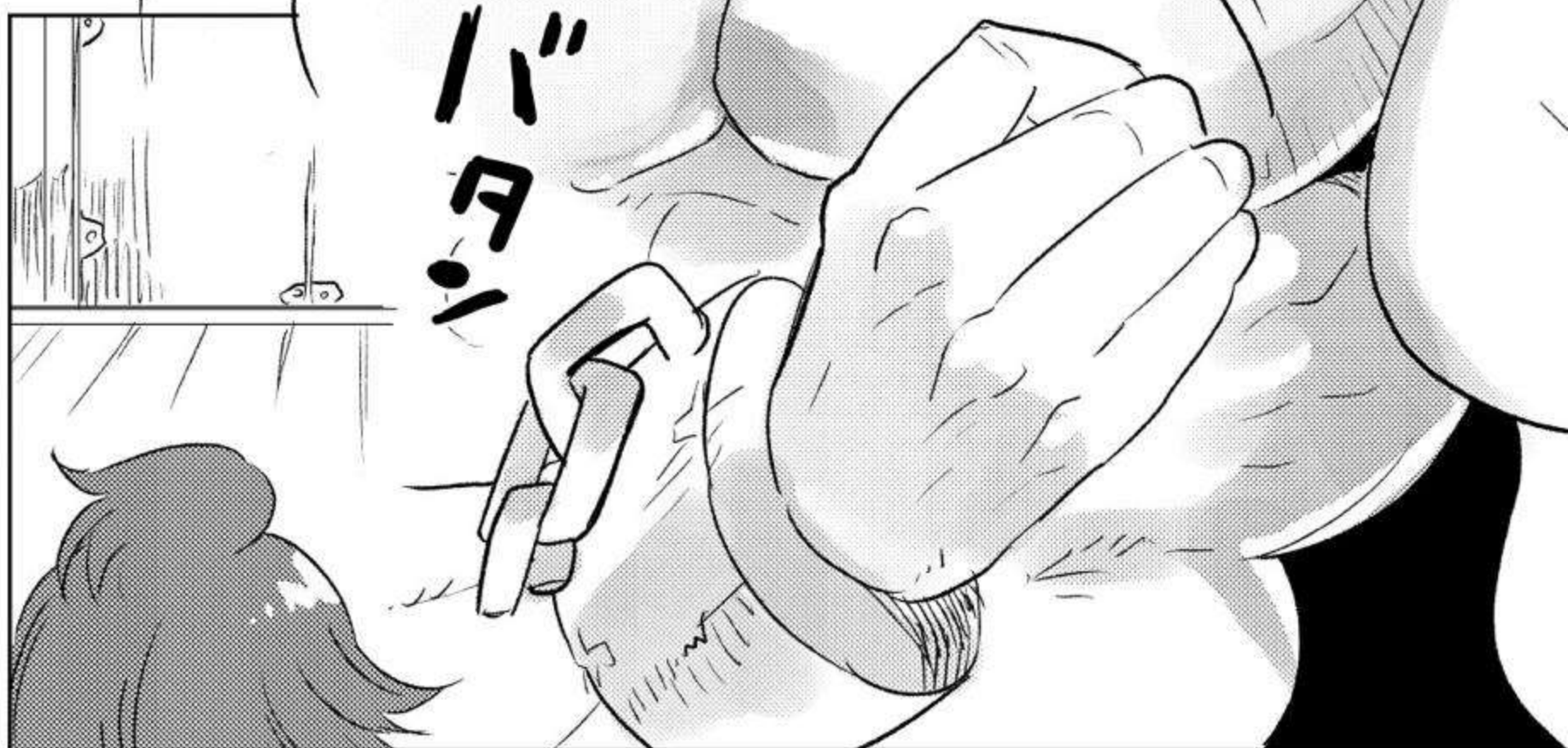
…うむ
呪いは無事
退行したようだな

では
私
は
こ
れ
で

ええ
ご
武
運
を



……あつ



バ
タ



次の実験は
このお腹に宿った
新しい命…

ホ
ウ
ン…

獣頭の戦士と
魔導学の子…
フフフフ…

というわけでもなかったでしょう。か、タバサって割と研究一筋なところもあるからセックスしても思った以上にドライに腰振りそう…と思ったのでそこは超近代魔学の効果で感じやすくなっていたとかの解釈でお願いします(誰に)。前書きでも触れたのですがストーリーはまあ浮かんだのですが作画が本当に大変でした。レオもタバサも似ない！特にレオは顔の描き方が動物よりなので表情がつけづらい！似ない！髪の毛多すぎ！似ない！鼻の傷忘れちゃう！似ない！と終始大変でした。あとツルツルのボディに描き慣れなさすぎて何度かふわふわに描いては消してを繰り返していました。だめですね。あと今回は呪いの進行で首周りに毛皮が生えていました。最初は全身モフモフにする予定でした。ただそれだとレオじゃない！殺すぞ！(誰に)と言われそうだったので首周りに止めました。尻尾も早そうかと思っただけですが絶対描き忘れると思っただけです。タバサは髪型が難しい点を除けばそれ以外は描きやすかったです。というか自分の趣味にドンピシャなのでそりゃあ描きやすいなあ。そんなわけでずいぶん昔の作品からの同人でしたが果たしてどのくらいの方が読んでくださるのか本当に不安です。ドキドキ。それでは。

超近代魔学臨床試験／サークル：STAR PARLOR／作者：流れ星☆プリン／発行日：2015年12月31日／
サイト：starparlor.net／メール：shootingstarpudding@gmail.com

